

安全上のご注意（必ずお守りください）

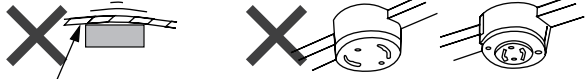
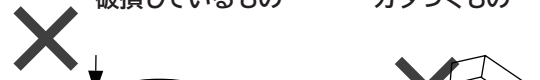
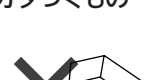
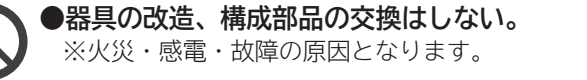
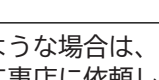
お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

危害や損害とその程度の区分		絵表示の例	
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	 「警告や注意を促す」内容のものです。	
		 してはいけない「禁止」内容のものです。	
 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。	 実行していただく「指示」内容のものです。	

警告

 このような場所には取り付けない ※器具の落下によるけがの原因となります。		 このような配線部品には取り付けない ※火災・感電・器具の落下によるけがの原因となります。	
 禁止	 押すと簡単にたわむ補強のない天井 ケースウェイ取り付け形ローゼット、シーリングボディ	 欠け 割れ 破損しているもの ガタつくもの	 電源が露出しているもの
 禁止	 傾斜天井 舟底天井 竿縁天井 格子天井	 19mm未満使用不可 角形・丸形引掛シーリングボディ	 電源が露出しているもの
 禁止	 ●器具の改造、構成部品の交換はしない。 ※火災・感電・故障の原因となります。 ●器具のすきまに金属類（ヘアピン・針金など）を差し込まない。 ※感電・故障の原因となります。	 10mm未満使用不可 埋込形引掛シーリングローゼット	 このような場合は、電気工事店に依頼して配線部品を交換してください。

注意

●定格電圧 交流100V以外で使用しない。 ※過熱し、火災の原因となります。 ●浴室などの湿気の多い場所や、常時温度の高い場所(35℃以上)では使用しない。 ※絶縁性能が低下し、火災、感電の原因となります。 ●調光器では使用しない(100%点灯でも使用不可)。 ※過熱し、火災の原因となります。 ●取り付け、取り外し、お手入れの際は電源を切る。 ※電源を切らないと感電の原因となります。 ●アダプタのチューブをずらしてコネクタを確実にこおう。 ※過熱時の延焼防止のためです。	●器具の真下にストーブなどを置かない。 ※過熱し、火災の原因となります。 ●屋外で使用しない(この器具は屋内専用です)。 ※火災・感電の原因となります。 ●点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているので触らない。 ※やけどの原因となります。 ●器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない。 ※器具の落下によるけがの原因になります。 ●カバーを外して、点灯しているLED光源を直視しない。 ※目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
●照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をお勧めします。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。	

お困りのときは

●もしこんな現象が起きたときは・・・故障と思われる前に下の表にしたがってお調べください。

このようなときは	考えられる要因	対応	ページ
明るさが変わった。	●短い停電があった。	●短い停電で、壁スイッチの操作のように“点灯状態を切り替える”機能が働く場合があります。	12
リモコンを操作しても点灯しない。	●壁スイッチが OFF になっている。	●壁スイッチをONにしてください。	6
	●コネクタがきちんと差し込まれていない。	●コネクタを確実に差し込んでください。	5
	●リモコンの乾電池が間違っ入っている。	●乾電池を正しく入れてください。	6
	●乾電池が寿命になっている。	●新しい乾電池と交換してください。	6
タイマー予約が動作しない。	●器具本体とリモコンのチャンネルが合っていない。	●チャンネルを正しく設定してください。	11
	●リモコンを、器具が動作する範囲内に置いていない。	●リモコンを器具の真下付近に置き、置いた場所から動作するか確認してください。	6
壁スイッチを操作しても点灯しない。	●コネクタがきちんと差し込まれていない。	●コネクタを確実に差し込んでください。	5
点灯状態が次々と切り替わる。	●デモ状態に入っている。	●リモコンで、チャンネル切替、LED保安灯以外の操作ボタンを押してください。	—
リモコンで消灯し、壁スイッチを操作しても点灯しない。	●ON・OFF 状態がわかる壁スイッチの場合	●壁スイッチを一度 OFF にし、約1秒後に再度 ON にしてください。	
	●ON・OFF 状態がわからない壁スイッチの場合（押しボタン式で押すたびにONとOFFが切り替わり、今の状態がONなのかOFFなのかわからないタイプ）	●壁スイッチを約1秒間隔で2回押してください。 ●もし上記の操作で点灯しないときは、上記の操作後2秒以上待ってから、壁スイッチを約1秒間隔で3回押してください。	

(上記の表にしたがって調べても直らない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。)

※万一、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから、お買い上げの販売店に、器具の形式(本体の器具銘板、リモコン受信部付近に表示)と現象を連絡のうえご相談ください。